

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東エリア特別支援学校高等部校舎新築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市東区城浜団地1番39	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法第22条区域	平均居住人員	291人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年2月15日
敷地面積	10,549 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 海渡設計 森山 翔太
建築面積	2,802 m <sup>2</sup>	確認日	2023年2月15日
延床面積	7,261 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 海渡設計 神崎 信二



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 福岡市に建設予定の学校の計画である。 耐用年数の長い材料の採用、高効率の機器を採用することで省エネ性能に配慮している。 また、敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行うなど、環境にも配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> F★★★★の建材をほぼ全面的に採用し、室内環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓等の省水型機器を用いるなど水資源を保護している。 また、フリーアクセスフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される